令和７年度採用　養護教諭

教科（科目）	受験番号
養護教諭	

1　次の文章は，「小学校学習指導要領（平成２９年告示）解説　特別活動編（平成２９年７月　文部科学省）　第３章　各活動・学校行事の目標及び内容　第４節　学校行事　２　学校行事の内容　（３）健康安全・体育的行事」の記載内容である。文中の（　A　）～（　E　）に当てはまる語句の組合せとして正しいものを，下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は１１。

健康安全・体育的行事のねらいは，次のとおり考えられる。

児童自らが自己の発育や健康状態について関心をもち，心身の健康の保持増進に努めるとともに，身の回りの危険を予測・回避し，安全な生活に対する理解を深める。また，体育的な集団活動を通して，心身ともに健全な生活の実践に必要な習慣や態度を育成する。さらに，児童が（　A　）に親しみ，楽しさを味わえるようにするとともに（　B　）の向上を図る。

健康安全・体育的行事においては，例えば次のとおり資質・能力を育成することが考えられる。

○　心身の健全な発達や健康の保持増進，事件や事故，災害等の非常時から身を守ることなどについてその（　C　）を理解し，必要な行動の仕方などを身に付ける。また，体育的な集団活動の（　C　）を理解し，規律ある集団行動の仕方などを身に付けるようにする。

○　自己の健康や安全についての課題や解決策について考え，他者と協力して，適切に（　D　）し行動することができるようにする。また，（　A　）することの（　E　）について考え，集団で協力して取り組むことができるようにする。

○　心身の健全な発達や健康の保持増進に努め，安全に関心をもち，積極的に取り組もうとする態度を養う。また，（　A　）に親しみ，（　B　）の向上に積極的に取り組もうとする態度を養う。

（略）

	A	B	C	D	E
①	運動	体力	意義	判断	よさ
②	活動	技能	よさ	対処	効果
③	活動	体力	意義	対処	効果
④	運動	技能	意義	判断	よさ
⑤	運動	体力	よさ	対処	効果

2025 kyosai-guild.jp

２　次の文章は，「小学校学習指導要領（平成２９年告示）解説　体育編（平成２９年７月　文部科学省）　第２章　体育科の目標及び内容　G　保健　（１）心の健康　ア　知識及び技能」の記載内容である。文中の（　A　）～（　E　）に当てはまる語句の組合せとして正しいものを，下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は１２。

(ｱ) 心の発達

心は人との関わり，あるいは自然とのふれあいなど様々な生活経験や学習を通して，年齢に伴って発達することを理解できるようにする。その際，家族，友達，地域の人々など人との関わりを中心として取り扱うようにし，心が発達することによって，自己の感情をコントロールしたり，相手の気持ちを理解したりすることができるようになることにも触れるようにする。また，自己の気持ちを上手に伝えるなど，よりよい（　A　）が大切であることにも触れるようにする。

(ｲ) 心と体との密接な関係

不安や緊張時には，（　B　）が激しくなったり，腹痛を起こしたりすること，体調が悪いときには，集中できなかったり，落ち込んだ気持ちになったり，体調がよいときには，気持ちが明るくなったり，集中できるようになったりすることなど，心と体は深く影響し合っていることを理解できるようにする。

(ｳ) 不安や悩みへの対処

不安や悩みがあるということは誰もが経験することであり，そうした場合には，家族や先生，友達などと話したり，相談したりすること，仲間と遊ぶこと，運動をしたり音楽を聴いたりすること，呼吸法を行うなどによって気持ちを楽にしたり，気分を変えたりすることなど様々な方法があり，（　C　）合った適切な方法で対処できることを理解できるようにする。その際，自己の心に不安や悩みがあるという状態に気付くことや不安や悩みに対処するために（　D　）ことは，心の発達のために大切であることにも触れるようにする。

不安や悩みへの対処として，（　E　）や深呼吸を取り入れた呼吸法などを行うことができるようにする。

	A	B	C	D	E
①	コミュニケーション	発汗	自分に	様々な経験をする	生活習慣の改善
②	コミュニケーション	発汗	発達段階に	問題を取り除く	体ほぐしの運動
③	コミュニケーション	動悸	自分に	様々な経験をする	体ほぐしの運動
④	人間関係	動悸	自分に	問題を取り除く	生活習慣の改善
⑤	人間関係	動悸	発達段階に	問題を取り除く	体ほぐしの運動

2025 kyosai-guild.jp

３　次の文章は，「中学校学習指導要領（平成２９年告示）解説　保健体育編（平成２９年７月　文部科学省）　第２章　保健体育科の目標及び内容　［保健分野］　２　内容　（３）傷害の防止」の記載内容である。下線部Ａ～Ｅのうち，正しいものの数を，下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は１３。

⑶　傷害の防止について，課題を発見し，その解決を目指した活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア　傷害の防止について理解を深めるとともに，応急手当をすること。

(ｱ) 交通事故や自然災害などによる傷害は，Ａ　人的要因や環境要因などが関わって発生すること。

(ｲ) 交通事故などによる傷害の多くは，安全な行動，環境の改善によって防止できること。

(ｳ) 自然災害による傷害は，災害発生時だけでなく，二次災害によっても生じること。また，自然災害による傷害の多くは，災害に備えておくこと，安全にＢ　避難することによって防止できること。

(ｴ) 応急手当を適切に行うことによって，Ｃ　傷害の悪化を防止することができること。また，心肺蘇生法などを行うこと。

イ　傷害の防止について，危険の予測やその回避の方法を考え，それらを表現すること。

（略）

ここでは，傷害の発生には様々な要因があり，それらに対する適切な対策によって傷害の多くは防止できること，応急手当はＣ　傷害の悪化を防止することができることを理解できるようにすることが必要である。また，Ｄ　包帯法やＥ　アドレナリン自己注射薬（エピペン®）の使用を含む心肺蘇生法などの応急手当ができるようにすることが必要である。さらに，危険を予測し，その回避の方法を考え，それらを表現することができるようにすることが必要である。

（略）

①　１つ
②　２つ
③　３つ
④　４つ
⑤　５つ

2025 kyosai-guild.jp

4　次の文章は，「学校保健安全法」（昭和三十三年法律第五十六号）（平成２８年４月施行）の記載内容である。（　A　）～（　D　）に当てはまる語句の組合せとして正しいものを，下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は１４。

第五条　学校においては，児童生徒等及び職員の心身の健康の保持増進を図るため，児童生徒等及び職員の健康診断，（　A　），児童生徒等に対する指導その他保健に関する事項について計画を策定し，これを実施しなければならない。

第十四条　学校においては，前条の健康診断の結果に基づき，疾病の予防処置を行い，又は治療を（　B　）し，並びに（　C　）を軽減する等適切な措置をとらなければならない。

第十八条　学校の設置者は，この法律の規定による健康診断を行おうとする場合その他政令で定める場合においては，（　D　）と連絡するものとする。

	A	B	C	D
①	環境衛生検査	勧告	運動及び作業	教育委員会
②	健康相談	指示	学習及び登校	保健所
③	環境衛生検査	勧告	学習及び登校	教育委員会
④	環境衛生検査	指示	運動及び作業	保健所
⑤	健康相談	勧告	運動及び作業	教育委員会

2025 kyosai-guild.jp

5　次の文章は，「学校保健安全法施行規則」（昭和三十三年文部省令第十八号）（令和５年５月施行）の「第六条」の記載内容である。下線部ア～オのうち，正しいものを「○」，正しくないものを「×」としたとき，その組合せの正しいものを，下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は１５。

第六条　法第十三条第一項の健康診断における検査の項目は，次のとおりとする。
一　身長及び体重
二　栄養状態
三　脊柱及びア　肩甲骨の疾病及び異常の有無並びに四肢の状態
四　視力及び聴力
五　眼の疾病及び異常の有無
六　耳鼻咽頭疾患及び皮膚疾患の有無
七　歯及びイ　歯周の疾病及び異常の有無
八　ウ　結核の有無
九　エ　心臓の疾病及び異常の有無
十　尿
十一　その他の疾病及び異常の有無
２　前項各号に掲げるもののほか，オ　腹囲及び肺活量，背筋力，握力等の機能を，検査の項目に加えることができる。

	ア	イ	ウ	エ	オ
①	×	○	×	×	○
②	×	○	○	×	○
③	○	×	○	○	×
④	○	×	×	○	○
⑤	×	×	○	○	×

2025 kyosai-guild.jp

6　次の①～⑤の文章は,「児童生徒等の健康診断マニュアル　平成２７年度改訂（平成２７年８月　公益財団法人　日本学校保健会）　第１章　児童，生徒，学生及び幼児の健康診断の実施　５　方法及び技術的基準　１２　心臓の疾病及び異常の有無」の記載内容をまとめたものである。心臓の検査について説明したものとして**適切でないもの**を，一つ選べ。解答番号は１６。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

2025 kyosai-guild.jp

7　次の文章は，「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン《令和元年度改訂》（令和２年３月　公益財団法人　日本学校保健会）第２章　疾患各論　３　アトピー性皮膚炎」の記載内容をまとめたものである。㋐～㋔のうち，適切であるものを「○」，適切でないものを「×」としたとき，その組合せの正しいものを，下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は１７。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

	㋐	㋑	㋒	㋓	㋔
①	○	×	○	×	×
②	×	×	○	○	○
③	○	×	×	×	○
④	×	○	×	○	×
⑤	×	○	○	○	×

2025 kyosai-guild.jp

８　次の文章は，「令和４年度　アレルギー疾患に関する調査報告書（令和５年３月　公益財団法人　日本学校保健会）」に示されているアレルギー疾患有病率の動向をまとめたものである。次のア～オのうち，適切なものの組合せを，下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は１８。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

① ア，イ
② イ，ウ
③ ア，オ
④ ウ，エ
⑤ エ，オ

2025 kyosai-guild.jp

9　次の表は，「学校において予防すべき感染症の解説　令和５年度改訂（令和６年３月　公益財団法人　日本学校保健会）　Ⅲ　感染症各論」の記載内容をまとめたものである。文中の（　A　）～（　D　）に当てはまる語句の組合せとして適切なものを，下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は１９。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

	A	B	C	D
①	水痘	腸管出血性大腸菌	マイコプラズマ	伝染性膿痂疹
②	水痘	カンピロバクター	肺炎球菌	伝染性紅斑
③	風しん	腸管出血性大腸菌	肺炎球菌	伝染性膿痂疹
④	風しん	カンピロバクター	マイコプラズマ	伝染性紅斑
⑤	水痘	腸管出血性大腸菌	肺炎球菌	伝染性紅斑

2025 kyosai-guild.jp

１０　次の①～⑤の文章は，「赤十字救急法講習（１５版）（令和４年４月　日本赤十字社）　第２章　急病」の記載内容をまとめたものである。そのうち，**適切でないもの**を一つ選べ。解答番号は２０。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

2025 kyosai-guild.jp

１１　次の①～⑤の文章は，「学校における水泳プールの保健衛生管理　平成２８年度改訂（平成２９年３月　公益財団法人　日本学校保健会）　第４章　水泳プールの水質管理」の記載内容をまとめたものである。そのうち，適切なものを一つ選べ。解答番号は２１。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

2025 kyosai-guild.jp

１２　次の文章は，「保健室経営計画作成の手引　平成２６年度改訂（平成２７年３月　公益財団法人　日本学校保健会）　３　保健室経営計画の作成」の記載内容をまとめたものである。次のア～オのうち，保健室経営計画についての説明として，適切なものの組合せを，下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は２２。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

① ア，ウ
② イ，オ
③ ア，エ
④ イ，エ
⑤ ウ，オ

2025 kyosai-guild.jp

１３　次の文章は，「喫煙，飲酒，薬物乱用防止に関する指導参考資料－令和２年度改訂－中学校編　（令和３年３月　公益財団法人　日本学校保健会）［理論編］８．教育内容及び扱い方に関する留意点：薬物乱用防止教育の場合　薬物乱用防止教育に必要な内容及び配慮が必要な情報　（１）薬物乱用防止教育に必要な内容」の記載内容をまとめたものである。ア～オのうち，適切であるものを「○」，適切でないものを「×」としたとき，その組合せの正しいものを，下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は２３。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

	ア	イ	ウ	エ	オ
①	×	○	×	×	○
②	○	○	○	○	○
③	○	×	○	○	×
④	×	○	○	×	○
⑤	×	×	×	×	×

2025 kyosai-guild.jp

１４　次の①～⑤の文章は，「後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針（平成３０年１月１８日　厚生労働省）」の記載内容をまとめたものである。そのうち**適切でないもの**を，一つ選べ。解答番号は２４。

① ＨＩＶは血液又は体液に存在する。ＨＩＶの主要な感染経路は性行為による感染であり，性行為を行う全ての人に感染する危険性がある。また，その他の感染経路として，ＨＩＶに汚染された血液を介した感染，母子感染等がある。

② ＨＩＶ感染症は急性感染症であるが，近年の抗ＨＩＶ療法の進歩により，感染者の予後が改善された結果，早期治療を開始した感染者は健常者と同等の生活を送ることができることとなった。

③ 国連合同エイズ計画（ＵＮＡＩＤＳ）は，第一に感染者等が検査によりその感染を自覚し，第二に定期的に治療を受け，第三に他者に感染させない状態にまでウイルス量を低下させるという一連のプロセスをケアカスケードと称している。

④ 普及啓発及び教育は，近年の発生動向を踏まえ，対象者の実情に応じて正確な情報と知識を，分かりやすい内容と効果的な媒体により提供する取組を強化することで，個人個人の行動がＨＩＶに感染する危険性の低いもの又は無いものに変化することを促進する必要がある。

⑤ 近年，郵送検査の利用数が増加しているが，郵送検査のみでは，ＨＩＶの感染の有無が確定するものではない。

2025 kyosai-guild.jp

１５　次の文章は，「がん予防重点教育及びがん検診実施のための指針（平成２８年２月４日一部改正　厚生労働省）　第２　がん予防重点健康教育　３　実施に当たっての留意事項」の記載内容である。文中の（　Ａ　）～（　Ｆ　）に当てはまる語句の組合せとして適切なものを，下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は２５。

（１）胃がん予防健康教育を実施する場合は，胃がんの予防においては，食生活の改善，（　Ａ　），ヘリコバクター・ピロリの除菌等の一次予防と二次予防（検診）とが共に重要な役割を担うことから，胃がん検診と緊密な連携が確保された実施体制を整備するなど，その効率的・効果的な実施に配慮する。

（２）子宮頸がん及び子宮体がん予防健康教育を実施する場合は，子宮頸がんの多くに性感染症の病原体の一つである（　Ｂ　）が関与していることを踏まえ，必要に応じ，教育関係者や母子保健担当者とも連携を図るなど，その効率的・効果的な実施に配慮する。

（略）

（３）肺がん予防健康教育を実施する場合は，肺がん検診の実施会場において同時に実施するなど，他の事業との連携や対象者の利便性に配慮する。

（４）乳がん予防健康教育を実施する場合は，我が国において（　Ｃ　）の女性に罹患率が高い状況を踏まえ，働く女性に対する健康教育を実施する産業保健とも緊密な連携が確保された実施体制を整備するなど，その効率的・効果的な実施に配慮する。

なお，（　Ｄ　）の女性については，この指針に規定する乳がん検診の対象とはならないものの，罹患率が上昇傾向にあることを踏まえ，（　Ｅ　）の重要性及び異常がある場合の専門医療機関への早期受診等に関する指導を行うこと。

（５）（　Ｆ　）予防健康教育を実施する場合は，（　Ｆ　）の予防においては，食生活の改善等の一次予防と二次予防（検診）とが共に重要な役割を担うことから，（　Ｆ　）検診と緊密な連携が確保された実施体制を整備するなど，その効率的・効果的な実施に配慮する。

	A	B	C	D	E	F
①	運動	ヒトパピローマウイルス	４０歳代	２０歳代	早期治療	食道がん
②	運動	ヒトパピローマウイルス	３０歳代	２０歳代	自己触診	大腸がん
③	運動	カンジタ菌	４０歳代	３０歳代	自己触診	食道がん
④	禁煙	カンジタ菌	３０歳代	２０歳代	早期治療	食道がん
⑤	禁煙	ヒトパピローマウイルス	４０歳代	３０歳代	自己触診	大腸がん

2025 kyosai-guild.jp

１６　次の文章は，「保健主事のための実務ハンドブック－令和２年度改訂－（令和３年３月　公益財団法人　日本学校保健会）　第２章　保健主事の役割　（３）学校保健に関する組織活動の推進　ア．教職員の協力体制の確立　（エ）　教職員の意識を高める働きかけ」の記載内容である。下線部ア～オのうち**適切でないもの**の組合せを，下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は２６。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

① ア，ウ，エ
② イ，エ，オ
③ ア，イ，オ
④ ア，ウ，オ
⑤ イ，ウ，エ

2025 kyosai-guild.jp

１７　次の文章は，「『生きる力』を育む学校での歯・口の健康づくり　令和元年度改訂（令和２年２月　公益財団法人　日本学校保健会）　第２章　歯・口の健康づくりの理論と基礎知識　第２節　歯・口の発育と機能の発達」の記載内容をまとめたものである。適切であるものを「○」，適切でないものを「×」としたとき，その組合せの正しいものを，下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は２７。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

	ア	イ	ウ	エ	オ
①	×	○	○	○	×
②	○	×	×	○	○
③	○	×	○	×	○
④	×	○	×	×	○
⑤	○	○	○	×	×

2025 kyosai-guild.jp

１８　次の文章は，「学校保健の課題とその対応－養護教諭の職務等に関する調査結果から－　－令和２年度改訂－　（令和３年３月　公益財団法人　日本学校保健会）第２章　調査結果から見た学校保健の課題とその対応　Ⅱ　保健管理　３　健康観察」の記載内容である。文中の（　Ａ　）～（　Ｄ　）に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを，下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は２８。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

	A	B	C	D
①	発達課題	集団発生状況	自分	課題解決力
②	健康課題	集団発生状況	自他	自己管理能力
③	発達課題	り患率	自分	課題解決力
④	健康課題	り患率	自分	自己管理能力
⑤	健康課題	り患率	自他	自己管理能力

2025 kyosai-guild.jp

１９　次の表は，「教職員のための子供の健康相談及び保健指導の手引－令和３年度改訂－」（令和４年３月　公益財団法人　日本学校保健会）　第３章　学校における健康相談の進め方と支援体制づくり　２　学校内外の支援体制づくり　（２）地域の関係機関等との連携体制づくり　③　地域の主な関係機関とその役割（例）」の記載内容をまとめたものである。表中の（　Ａ　）～（　Ｄ　）に当てはまる語句の組合せとして適切なものを，下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は２９。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

	A	B	C	D
①	精神医療	相談	子ども家庭支援	子ども支援
②	精神保健福祉	相談	子ども家庭支援	要保護児童
③	精神保健福祉	相談	保健	子ども支援
④	精神保健福祉	少年サポート	子ども家庭支援	要保護児童
⑤	精神医療	少年サポート	保健	子ども支援

2025 kyosai-guild.jp

２０　次の文章は，文部科学省「令和４年度学校保健統計（確報値）の公表について（令和５年１１月　総合教育政策局）【発育状態調査】」の結果をまとめたものである。ア～オのうち，適切であるものを「○」，適切でないものを「×」としたとき，その組合せの正しいものを，下記の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は３０。

ア　肥満傾向児の割合は男女ともに小学校高学年が最も高く，特に男子は８歳以降１割を超えている。
イ　中学校（１２～１４歳）において，肥満傾向児の割合が最も高いのは，男女ともに１４歳である。
ウ　高等学校（１５～１７歳）において，肥満傾向児の割合が最も高いのは，男女ともに１５歳である。
エ　小学校（６～１１歳）において，痩身傾向児の割合が最も高いのは，男女ともに小学校低学年である。
オ　５～１７歳の男女の中で，痩身傾向児の割合が最も高いのは１５歳男子である。

	ア	イ	ウ	エ	オ
①	○	×	○	×	○
②	○	×	×	○	×
③	×	×	○	○	×
④	○	○	×	×	×
⑤	×	○	○	○	○

2025 kyosai-guild.jp

令和７年度採用　岐阜県公立学校教員採用選考試験
第１次選考試験　養護教諭

解答番号	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
正解	①	③	④	④	⑤	⑤	②	③	①	④

解答番号	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
正解	③	④	④	②	⑤	③	④	②	④	①

2025 kyosai-guild.jp